

ルピナス 230

第108号

令和2年11月1日(日)

コロナウイルスの感染が、世界的大流行によって日々の生活まで変える事態が続いて一年近くなるとうまっています。

各国は、競ってワクチンの開発に取り組んでおりますが、いまだ特効薬の開発には至っていない状況で、とりわけ大国と云われる国の指導者は、政治的な思惑も相まって、安全性の確認も担保できないワクチンを販売すべく競っています。

これから冬季間に入ると、インフルエンザの対応にも気を付けなければならないなど、一年中ウイルスに振り回されようとしています。

地球温暖化によると思われる自然災害も「これまで経験したことの無い」災害として起きているのは、多くの専門家が警鐘を訴えています。

札幌においては、これまで自然災害による被害が比較的少ない状況ではありますが、本州においては「これまで経験したことのない」との報道を何度も耳にしたことが、自然災



コロナウイルスとの戦い

藤野地区町内会連合会 副会長 阿部 孝司

害により多くの犠牲者や被害に見舞われた年でもあります。

このような状況にあつて、コロナウイルス感染拡大によって北海道だけでなく、十月二十日現在二、五〇〇人を超える感染者が出ており「三密」「外出自粛」などの制限によって爆発的な感染拡大には至っておりませんが、あらゆる産業が移動制限などによって打撃を受けており、正常に戻るにはかなりの年月が掛かると云われています。

私どもの町内会活動も多くを中止せざるを得ない状況になり大変残念であります。各種活動にご協力いただいております役員・会員の皆さんには、来年こそコロナ騒動が終息して通常の活動ができることを願うばかりです。

コロナウイルスの感染は、個々の意識が感染を最小限に食い止めると思いますが、皆さんと共に正常な活動が出来るまでがんばりましょう。



令和二年度
地域功労者
市長・区長
表彰受賞者

長年にわたり町内会活動に尽力された方々に対する地区功労者表彰が八月三日（月）に藤野地区センターで行われ、藤野地区からは五人の方が表彰を受けました。表彰を受けたのは、札幌市長表彰の小田勝義さん、区長表彰の田中一男さんから四人で、大平英人・札幌市南区長から感謝状が伝達、贈呈



小田 勝義 さん

《市長表彰》
小田 勝義様（おだかつよし）
平成二十二年四月
～平成二十七年三月
藤野地区町内会連合会会計部長
平成二十七年四月
～令和二年三月
西藤野町内会会長



石山 神日 さん

《区長表彰》
石山 神日様（いしやましんいち）
平成二十五年四月
～平成三十年三月
藤野緑町町内会副会長兼総務部長
平成三十年四月
～令和二年三月
藤野緑町町内会会長

されました。この表彰は、例年五月に行われる連合町内会の定期総会時に行われていましたが、今年は新型コロナウイルスのため総会が中止され、贈呈式も繰り延べになっていました。表彰された方々は次の通り。



菅野 暁子 さん

菅野 暁子様（すがのあきこ）
平成十八年四月
～平成二十五年三月
藤野第一町内会女性部長
平成二十一年四月
～平成二十二年三月
藤野地区町内会連合会
女性部副部長
平成二十一年四月
～平成二十七年三月
藤野第一町内会副会長
平成二十七年四月
～平成三十年三月
藤野第一町内会福祉部長
同町内会会長

田中 一男様 (たなかかずお)

平成二十五年四月

～平成三十年三月

藤野中央町内会会長

平成二十五年五月

～令和元年四月

藤野地区町内会連合会理事

平成元年五月

～令和元年九月

藤野地区町内会連合会副会長



田中 一男 さん

横山 彦之様 (よこやまひこゆき)

平成十四年四月

～平成二十四年三月

西藤野町内会会計部長

平成二十五年四月

～令和二年三月

西藤野町内会副会長



横山 彦之 さん

令和三年 新年交礼会について

今年度の新年交礼会は新型コロナウイルスにより中止になりました。来年度は開催できることを祈り、今後準備を進めて参ります。ご了承・ご理解の程よろしくお願いいたします。

藤野町内会連合会 広報誌ルピナス
五十周年記念誌

表紙を飾った写真紹介

富士見町内会会長 飯盛 禮子

自宅の花の写真がきっかけで色々な場所に足を運ぶようになりました。撮影の魅力は自然を肌で感じることです。皆さんに前回ご覧頂いた、北方自然教育園での早春の代かき、五十周年記念誌表紙、白川からサクランボの花と共に藤野三山を撮影しました。今回は、十五島公園内の白川橋からみた豊平川(上流)の様子を写したものです。藤野の自然も素晴らしいものがあります。



「コロナウイルス禍の中」「花いっぱい運動」展開

コロナウイルス感染症禍の中、連合会環境部は令和二年度街づくりビジョン「花と緑、文化と福祉のまち藤野」を指針とした花いっぱい運動に取り組み、230ポランティアサポートプログラム、札幌市南区歩道美化事業を推進しました。コロナウイルス感染症拡大防止を考慮しながら三蜜を避けた植栽で、五月下旬から六月上旬にかけて、九町内会及び藤野商工会の協力を得て約一万株を国道、市道の花壇柵域に各種の花を植栽しました。



日照り時間が短い、極端な猛暑による自然界の環境の変化に、花壇柵の花たちも悪戦苦闘の様子をしています。道行く人たちの心を和ませていることと思います。



編集後記 沿線協の新しい紙芝居が誕生

定山溪沿線町内会連絡協議会（福士昭夫会長）から届いた話題を紹介します。

同協議会では、二〇一六年（平成二十八年）の「小金湯さくらの森」開園時に、桜の森を、札幌市民や道民の方々に広く知ってもらいたいと、紙芝居を作りましたが、その第二弾がこのほど完成しました。新しい紙芝居のタイトルは『のんのとオオムラサキ』。前作の『こうたと桜の森』では公園の成り立ちや地域の歴史が紹介されましたが、

今度の作品の主人公は桜の花の妖精ののんと、国蝶オオムラサキ。さくらの森を舞台に昆虫たちがドラマを繰り広げます。アイヌ語が随所にリズムミカルに盛り込まれ、オープニングには藤野太鼓も登場します。

当初、五月の「さくら祭り」でお披露目される予定でしたが、延び延びになっていきました。今後、児童会館、ミニ児童会館や地域の催しなどで実演される予定です。作者の重松彌佐さんは「自然豊かな地域をイメージした紙芝居になっっています。多くの方々に観て、楽しんでもらいたいです」と語っていました。



脚本…重松彌佐さん（藤野在住）
画…高田弘子さん（恵庭在住）

ルピナス一〇八号は、残念ながら減ページでの発行となりました。通常は六ページですが、四ページ。焦らず少しづつ、できることを広げていきたいと思います。（渡部 記）

ルピナス第一〇八号
令和二年十一月一日発行
発行人 吉田 健治
編集人 渡部 徹
印刷所 日光広告株
連絡先 五九三〇二二五（高橋）